

ひょうご講座 2025

Hem21

場所：
兵庫県中央労働センター
神戸市中央区下山手通 6-3-28

8回コース

防災・復興

「災害の教訓を
活かし、備える」



プレミアムな講座に

参加しませんか？

8回コース

社会・地域

「VUCAの時代の
日本社会と
地域を考える」



8回コース

国際理解

「トランプ2.0と
向き合う世界」



令和7年
9月 開講

データサイエンス

8回コース

「ビッグデータ、AIとその周辺を読みとく」

AI活用実習

5回コース

「AI活用のための基礎技術とその応用を学ぶ」

受講料

8回コース

12,000円

5回コース

7,500円

〈主催〉

(公財) ひょうご震災記念21世紀研究機構

TEL: 078-262-5713 FAX: 078-262-5122

ひょうご講座

検索

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.hyogo-al.jp/kouza/>



ひょうご講座2025

県民の学習ニーズに応えるため、テーマ性を明らかにした大学教養レベルの講座（「一般コース」3分野）、また、社会人の学び直しの機会提供のため、データサイエンスやAI活用技術習得の入門講座（「リカレントコース」2分野）を開講します。

ポイント1

少人数制
(20~50名)

ポイント2

著名な講師
から学べる

ポイント3

安心価格
(昨年度と同額)

一般コース 〈3分野〉

	テーマ	受講料	回数	定員
防災・復興	災害の教訓を活かし、備える (P2)	12,000円	全8回	40名
社会・地域	VUCAの時代の日本社会と地域を考える (P3)			50名
国際理解	トランプ2.0と向き合う世界 (P4)			

リカレントコース 〈2分野〉

データサイエンス	ビッグデータ、AIとその周辺を読みとく (P5)	12,000円	全8回	20名
AI活用実習	AI活用のための基礎技術とその応用を学ぶ (P5)	7,500円	全5回	

日時

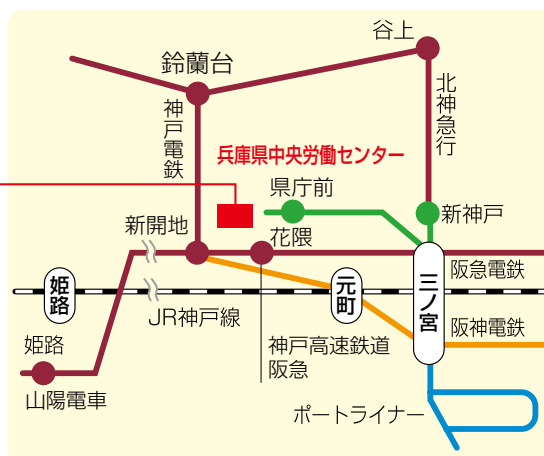
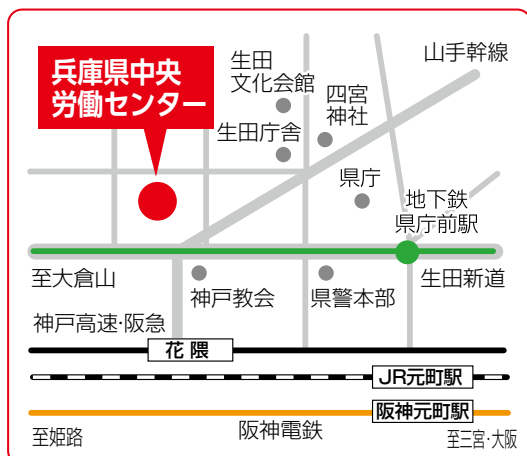
2025年(令和7年)

9月|初旬|—12月|中旬| 平日 18:30~20:00

会場

兵庫県中央労働センター 神戸市中央区下山手通6-3-28

TEL:078-341-2271 FAX:078-341-7332



- 神戸市営地下鉄「県庁前」駅・西出口③より西へ徒歩8分
- 神戸高速鉄道「花隈」駅・東口より北へ徒歩10分
- JR・阪神「元町」駅・西口より西北へ徒歩15分

「災害の教訓を活かし、備える」

■開催時間：18:30～20:00 ■定員：40名 ■受講料：12,000円

全8回コース

※お申し込み受付は先着順とし、定員になり次第締め切ります。

阪神・淡路大震災以降、日本各地で大規模な自然災害が頻発し、政府は南海トラフ巨大地震や首都直下地震の脅威に警鐘を鳴らしています。災害のたびに教訓を活かし備えを強化してきましたが、能登半島地震では災害関連死が多発し、南海トラフ地震臨時情報による社会的混乱も課題となりました。こうした教訓を踏まえ、政府は災害発生時の指揮機能強化を目的に、令和8年度に向け防災庁の設立を検討しています。

改めて、地震や風水害など自然災害対応を巡る最近の諸課題とその処方について学ぶとともに、ひとたび発生すれば国難をもたらしかねない巨大災害に対する備えについても、考えていきます。

1

9 | 1 月 命を守る 地域を守る



名古屋大学名誉教授 福和 伸夫

名古屋大学名誉教授。建築学・地震工学の専門家として、耐震技術の発展や防災教育に貢献。防災功労者防災担当大臣表彰(2014)。南海トラフ巨大地震対策検討WG座長、防災庁設置準備アドバイザー会議主査など多数の政府委員も務め、日本の防災を牽引。

2

9 | 8 月 災害関連死を考える



関西大学社会安全学部教授 奥村 与志弘

1980年生まれ。博士(情報学)。総合防災・減災が専門。京都大学を卒業後、人と防災未来センター研究員、京都大学助教などを経て現職。津波避難や災害関連死の研究、防災をきっかけとした企業や地域の変革にも注力。政府の委員なども多数務める。

3

9 | 22 月 被災者支援の混乱を止めるために



大阪公立大学大学院文学研究科准教授 菅野 拓

大阪公立大学大学院文学研究科准教授。博士(文学)。専門は人文地理学。社会問題の解決が研究テーマで、困窮者支援や災害対応の現場で研究・実践。内閣官房「防災庁設置準備アドバイザー会議」専門委員などを務める。

4

10 | 6 月 異常気象と防災— 人々の命を守る



南気象予報士事務所代表取締役・気象予報士 南 利幸

南気象予報士事務所代表取締役。気象予報士・技術士(応用理学)・防災士。「おはよう日本(土日祝)」 「LiveLoveひょうご(水)」出演中。気象庁「防災気象情報に関する検討会」委員、花粉情報協合理事他。

5

10 | 20 月 避難生活の環境変化に対応した支援



兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科教授 阪本 真由美

兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科教授。専門は、減災コミュニケーション、防災教育、地域防災。人と防災未来センター主任研究員、名古屋大学減災連携研究センター特任教授を経て現職。ひょうご震災記念21世紀研究機構理事。令和6年防災功労者防災担当大臣表彰受賞。

6

11 | 10 月 災害の教訓を活かし、備える



神戸大学名誉教授・室崎 益輝
兵庫県立大学名誉教授

神戸大学・兵庫県立大学名誉教授。災害復興と防災政策の第一人者。阪神・淡路大震災後の復興制度の研究を進め、災害対応の枠組み構築に寄与。日本災害復興学会会長として、被災地支援と復興モデルの策定に携わる。

7

11 | 17 月 地域における実践的な防災教育や訓練



京都大学防災研究所副所長・教授 矢守 克也

京都大学防災研究所副所長・教授。防災心理学の専門家。地区防災計画学会会長等として、地域の防災対策強化に取り組む。防災庁設置準備アドバイザー会議委員等としても活躍。NHKの防災番組「明日をまもるナビ」などテレビ出演も多数。

8

12 | 8 月 社会現象の相転移発生を利用した防災庁の発足



阪神・淡路大震災記念
人と防災未来センター長 河田 恵昭

関西大学社会安全学部特別任命教授・社会安全研究センター長。工学博士。専門は防災・減災・縮災。人と防災未来センター長(兼務)。京都大学防災研究所長を歴任。京都大学名誉教授。国連SASAKAWA防災賞など多数受賞。瑞宝中綬章受章。政府の委員なども多数務め日本の防災を牽引。

「VUCAの時代の日本社会と地域を考える」

■開催時間：18:30～20:00 ■定員：50名 ■受講料：12,000円

全8回コース

※お申し込み受付は先着順とし、定員になり次第締め切ります。

国内では、少子高齢化、DXの急速な進展、気候変動・自然災害の発生、物価高や金利の上昇など、また、国際的にも、ロシアのウクライナ侵攻、緊迫の続く中東情勢、第二次トランプ政権による「アメリカ第一主義」施策の展開など、我が国の社会や地域を取り巻く環境も急速に変化し、VUCAの時代と呼ばれる予測困難な時代となりました。

このような中、私たち一人一人が変化を柔軟に受け止め、未来の社会を自立的に生きていくことが求められています。そこで、社会や地域に大きな影響を及ぼすこれら事象の現況や今後の見通しについて、幅広く考えていきます。

1 9 | 3 水 生成AIの社会的インパクト



神戸大学大学院国際文化学研究科教授 村尾 元

博士(工学)。1995年神戸大学大学院自然科学研究科博士課程後期課程満期退学。神戸大学工学部助手、ミュンヘン工科大学客員研究員、廈門理工学院客員教授などを経て、2013年より現職。専門は機械学習、社会システム科学。

2 9 | 17 水 人々のQoLを向上させる地域づくり



甲南大学経済学部教授 石川 路子

甲南大学経済学部教授。地域経済学を専門とし、人々のQoLと地域資源との関連性に関する分析・研究を推進。持続可能な地域の実現に向け、ゼミ活動では地域と学生をつなぐプロジェクトを数多く企画・展開している。

3 10 | 1 水 災害列島・日本 ～来るべきXデーに備えて



小説家 高嶋 哲夫

小説家。慶應義塾大学工学部大学院修了後、核融合研究に従事。1999年『イントゥルーダー』で作家デビュー。『首都感染』『チェーン・ディザスタース』『家族』など社会派作品、防災や国際安全保障をテーマにした作品も多く、フィクションを通じて社会の課題を提起。

4 10 | 8 水 世界政治の変動による エネルギー需要への影響



独立行政法人 エネルギー・金属鉱物資源機構
エネルギー事業本部 調査部長

原田 大輔

独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構(JOGMEC)調査部長。国際エネルギー政策や資源戦略を専門とし、ロシア・ウクライナ戦争の影響分析などを手掛ける。著書に「エネルギー危機の深層」(ちくま新書)。

5 10 | 16 木 分断を生む極端な好き嫌い (民主主義と世論)



関西学院大学法学部教授 善教 将大

関西学院大学法学部教授。専門は政治意識論、政治行動論。近年は投票参加や党派性の研究などに従事。主著として『大阪の選択』、『維新支持の分析』(サントリ学芸賞)など。

6 11 | 5 水 気候安全保障 —気候変動の地政学リスク



京都大学大学院総合生存学館教授 関山 健

京都大学大学院総合生存学館教授。国際政治経済学・国際環境政治学を専門とし、気候安全保障や米中関係の研究。財務省・外務省での政策実務経験を持つ。

7 11 | 26 水 日銀支店長の視点： 経済動向と兵庫経済の現状と展望



日銀神戸支店長 別所 昌樹

1994年入行、2024年より現職。FinTechセンター長(2021-24年)として決済システムの未来に向けたプロジェクトを推進したほか、ロンドン事務所次長、金融研究所制度基盤研究課長、フランクフルト事務所員等を歴任。京大法学部卒、バージニア大法科大学院修了。

8 12 | 16 火 文化によるまちづくり



芸術文化観光専門職大学学長・劇作家 平田 オリザ

1962年東京生まれ。国際基督教大学卒業。日本を代表する劇作家、演出家。大学在学中に結成した劇団「青年団」を率いて、こまばアゴラ劇場を拠点に国内外で幅広く活動する。『東京ノート』、『その河をこえて、五月』などで、数々の賞を受賞。2021年4月より現職。兵庫県豊岡市在住。

「トランプ2.0と向き合う世界」

■開催時間：18:30～20:00 ■定員：50名 ■受講料：12,000円

全8回コース

※お申し込み受付は先着順とし、定員になり次第締め切ります。

激しい米中対立、ロシアによるウクライナ侵攻、イスラエルによるガザ地区侵攻、そしてグローバル・サウスの台頭など、国際情勢の流動化が進むなか、米国に再びトランプ政権が誕生し、1期目以上に前政権と異なる独自の方針で、摩擦を伴う施策を推進しています。

こうした米国の動きを受けて、日本をはじめ世界各国において対応が迫られており、世界の動きや各国の現状や対応を見ていくとともに、日本の取るべき道についても考えていきます。

1 9 | 5 (金) ウクライナ戦争と揺らぐ国際秩序



英国王立防衛安全保障研究所 日本特別代表 秋元 千明

英国王立防衛安全保障研究所(RUSI)日本特別代表。専門は国際安全保障、NHK解説委員を経て現職。日英安全保障協力の促進に尽力し、国際的な戦略コミュニティーで活躍。早稲田大学ヨーロッパ文明史研究所招聘研究員を兼任。

2 9 | 26 (金) トランプアメリカの行方



同志社大学法学部教授 村田 晃嗣

博士(政治学)神戸大学。同志社大学法学部教授(アメリカ外交、安全保障研究)。同大学法学部長、学長を歴任。防衛省参与(2019-20年)。日本放送協会(NHK)経営委員会委員(2018-25年)。著書に「トランプvsバイデン」PHP新書など多数。サントリー学芸賞、吉田茂賞を受賞。

3 10 | 10 (金) 習近平時代の中国情勢と今後



関西学院大学総合政策学部教授 井上 一郎

関西学院大学総合政策学部教授。中国政治外交を研究。外務省を経て、米国タフツ大学フレッチャー法律外交大学院修了(国際関係論)。主要論文として「グローバル化時代の中国外交部」『アジア研究』64巻4号など。

4 10 | 24 (金) 混迷の中東情勢を読み解く



明治学院大学法学部准教授 溝渕 正季

明治学院大学法学部准教授。中東地域研究・国際安全保障論を専門とし、国際政治の視点から中東の紛争や軍事問題を研究。近著に『アメリカの中東戦略：交錯する覇権と抵抗の論理』(慶應義塾大学出版会、2025年)など。

5 10 | 29 (水) ロシア情勢と今後



筑波大学名誉教授 中村 逸郎

1956年島根県生まれ、1987年学習院大学大学院博士後期課程単位取得退学、博士(政治学)、モスクワ国立大学とロシア連邦科学アカデミーに留学、島根県立大学助教授を経て、2001年筑波大学社会科学系助教授、07年人文社会系教授、国際総合学類長を経て22年定年退職。

6 11 | 14 (金) 1987年体制の終焉？：二極化する韓国と日韓関係



神戸大学大学院国際協力研究科教授 木村 幹

神戸大学大学院国際協力研究科教授。専門は朝鮮半島地域研究・比較政治学。歴史的背景から韓国の人々の考え方が如何に形成されてきたかを分析する。近著に『全斗煥』(ミネルヴァ書房)、『国立大学教授のお仕事』(ちくま新書)。

7 11 | 21 (金) 岐路に立つ世界とインド



京都大学大学院 アジア・アフリカ地域研究研究科教授 中溝 和弥

京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究科教授。民主主義は貧困と暴力を解決できるか、という関心の下、現代インド政治研究を進める。インドには通算6年間滞在し、各地でフィールド・ワークを展開してきた。

8 12 | 5 (金) ウクライナ情勢と日本、そして兵庫



神戸学院大学経済学部教授 岡部 芳彦

神戸学院大学経済学部教授。博士(歴史学)、博士(経済学)。在神戸ウクライナ名誉領事。ウクライナ研究を専門とし、日本におけるウクライナ研究の第一人者。国際交流やウクライナとの関係強化に尽力。

「ビッグデータ、AIとその周辺を読みとく」

■開催時間：18:30～20:00 ■定員：20名 ■受講料：12,000円

全8回コース

※お申し込み受付は先着順とし、定員になり次第締め切ります。

AIなど情報科学技術の目覚ましい進展により、様々な分野でビッグデータが得られ、その活用が進んでいます。これにより、新たな価値の創造や、それにつながる新技術の創出に向けた取り組みが盛んに行われています。

今後も進展が予想されるこれらの技術はどのようなもので、どのように進歩してきたか、また、社会との関わりや今後の展開について、関連諸分野を含めて学びます。

開催日	テーマ	講師
1 9 2 火	人工知能技術の今	笹嶋 宗彦 兵庫県立大学大学院・情報科学研究科兼社会情報科学部 教授
2 9 9 火	道具としてのAIとの付き合い方	大島 裕明 同 大学大学院・情報科学研究科兼社会情報科学部 准教授
3 9 16 火	人の動きや行動を分析する機械学習技術	川嶋 宏彰 同 大学大学院・情報科学研究科兼社会情報科学部 教授
4 10 7 火	文章を扱うAI技術	湯本 高行 同 大学大学院・情報科学研究科兼社会情報科学部 准教授
5 10 14 火	アルゴリズム理論とその応用	宮崎 修一 同 大学大学院・情報科学研究科兼社会情報科学部 教授
6 10 21 火	情報社会を支えるアルゴリズム	玉置 卓 同 大学大学院・情報科学研究科兼社会情報科学部 教授
7 10 28 火	問題解決のためのオペレーションズ・リサーチ	東川 雄哉 同 大学大学院・情報科学研究科兼社会情報科学部 教授
8 11 4 火	最適化技術の応用と進展	藤江 哲也 同 大学・社会情報科学部長 同 大学大学院・情報科学研究科 教授

「AI活用のための基礎技術とその応用を学ぶ」

■開催時間：18:30～20:00 ■定員：20名 ■受講料：7,500円

全5回コース

※お申し込み受付は先着順とし、定員になり次第締め切ります。

AIは急速に進化し、社会を動かす原動力として注目を集めています。こうした中、本講座ではAI活用で多用されるプログラミング言語Pythonによるプログラミングを学びます。

最新の生成AIを活用したプログラミング実習を通して、実際に手を動かしてAI・機械学習プログラムを体験することで、その基礎技術に対する理解を深め、今後の応用につながる実践的な知識や技能を身に付けます。

開催日	テーマ	講師
1 11 6 火	生成AI活用プログラミング/Python入門	
2 11 13 火	Python/Pandasによるデータ分析とMatplotlibによる可視化	
3 11 20 火	Python/Scikit-Learnによる機械学習入門	森本 雅和 兵庫県立大学大学院・工学研究科 准教授
4 11 27 火	Python/PyTorchによる深層学習入門と画像認識体験	
5 12 4 火	Python/Transformersによる生成AI体験	

※受講の際には、各自でWindowsノートPCをご準備ください(全5回出席が必要です)。

※Python開発環境の準備について、事前に手順書を配布しますので、各自でインストールをお願いします。

※Macノートでの受講も可能ですが、その場合は必ず事前にお問い合わせください。

STEP
1

申し込み

受講手続きは 簡単2ステップ

（お問合せ先：☎078-262-5713
平日／9時～12時、13時～17時）

下記のいずれかの方法でお申し込みください。※先着順受付、定員になり次第締め切ります。



WEB

<http://www.hyogo-al.jp/kouza/>

ひょうご講座

検索



締切

8/18(月)
必着

下記「受講申込書」に必要事項をご記入の上ご送付ください。



FAX

078-262-5122

※但し「AI活用実習分野」は
9月26日(金)必着

郵送

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 人と防災未来センター東館6階
(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構・交流推進課STEP
2

受講料払込

お申込み後、10日程度でお手元に届く「払込取扱票(郵便局)」で
期日までに受講料を一括でお支払いください(受講手續完了)。事務局で入金確認後、早ければ1週間ほどで「受講者証」がお手元に届きます。
開講当日、この「受講者証」をご持参ください。

ひょうご講座2025受講申込書

FAX送信先: 078-262-5122

- ご希望の分野に☑を入れ、必要事項をご記入ください。●受講料は各12,000円(但し、AI活用実習のみ7,500円)
- 各講座日程の重複はありませんので、複数コースをご選択いただいても受講可能です。

受講希望 講座名	一般コース	☐ 防災・復興分野 ☐ 社会・地域分野 ☐ 国際理解分野		
	リカレントコース	☐ データサイエンス分野 ☐ AI活用実習分野		
ふりがな			性別	年齢 (いずれかを○で囲んでください)
氏名			男・女	10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代以上
ご住所	〒 —		☐ ご自宅 ☐ 勤務先	
電話	(日中にご連絡可能な電話番号をご記入ください)		FAX	— —
E-mail	@ ☐ 急な連絡は、Eメールのみでよい (休講等、急を要する際の連絡は、Eメールのみでよければ☑をお願いします。)			

※本申込書にご記入いただいた個人情報は、当講座に関する連絡のほか、当機構が主催・後援等を行う事業などのご案内のため使用させていただきます。

一般コース

防災・復興	「災害の教訓を活かし、備える」	P2
1	9/1 ㊦	命を守る 地域を守る 福和 伸夫 名古屋大学名誉教授
2	9/8 ㊦	災害関連死を考える 奥村 与志弘 関西大学社会安全学部教授
3	9/22 ㊦	被災者支援の混乱を止めるために 菅野 拓 大阪公立大学大学院文学研究科准教授
4	10/6 ㊦	異常気象と防災 ― 人々の命を守る 南 利幸 南気象予報士事務所代表取締役・気象予報士
5	10/20 ㊦	避難生活の環境変化に対応した支援 阪本 真由美 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科教授
6	11/10 ㊦	災害の教訓を活かし、備える 室崎 益輝 神戸大学名誉教授・兵庫県立大学名誉教授
7	11/17 ㊦	地域における実践的な防災教育や訓練 矢守 克也 京都大学防災研究所副所長・教授
8	12/8 ㊦	社会現象の相転移発生を利用した防災庁の発足 河田 恵昭 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター長

国際理解	「トランプ2.0と向き合う世界」	P4
1	9/5 金	ウクライナ戦争と揺らぐ国際秩序 秋元 千明 英国王立防衛安全保障研究所日本特別代表
2	9/26 金	トランプアメリカの行方 村田 晃嗣 同志社大学法学部教授
3	10/10 金	習近平時代の中国情勢と今後 井上 一郎 関西学院大学総合政策学部教授
4	10/24 金	混乱の中東情勢を読み解く 溝渕 正季 明治学院大学法学部准教授
5	10/29 水	ロシア情勢と今後 中村 逸郎 筑波大学名誉教授
6	11/14 金	1987年体制の終焉? :二極化する韓国と日韓関係 木村 幹 神戸大学大学院国際協力研究科教授
7	11/21 金	岐路に立つ世界とインド 中溝 和弥 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科教授
8	12/5 金	ウクライナ情勢と日本、そして兵庫 岡部 芳彦 神戸学院大学経済学部教授

お申し込み・お問い合わせ先



(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構
交流推進課 ひょうご講座担当

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 人と防災未来センター 東館6階

TEL:078-262-5713 FAX:078-262-5122

ひょうご講座

検索



詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.hyogo-al.jp/kouza/>

社会・地域		「VUCAの時代の日本社会と地域を考える」P3
1	9/3 水	生成AIの社会的インパクト 村尾 元 神戸大学大学院国際化学研究科教授
2	9/17 水	人々のQoLを向上させる地域づくり 石川 路子 甲南大学経済学部教授
3	10/1 水	災害列島・日本 ～来るべきXデーに備えて 高嶋 哲夫 小説家
4	10/8 水	世界政治の変動によるエネルギー需要への影響 原田 大輔 独立行政法人 エネルギー・金属鉱物資源機構 調査部長
5	10/16 木	分断を生む極端な好き嫌い(民主主義と世論) 善教 将大 関西学院大学法学部教授
6	11/5 水	気候安全保障 ― 気候変動の地政学リスク 関山 健 京都大学大学院総合生存学館教授
7	11/26 水	日銀支店長の視点:経済動向と兵庫経済の現状と展望 別所 昌樹 日銀神戸支店長
8	12/16 火	文化によるまちづくり 平田 オリザ 芸術文化観光専門職大学学長・劇作家

リカレントコース

データサイエンス		「ビッグデータ、AIとその周辺を読みとく」 P5
1	9/2 火	人工知能技術の今 笹嶋 宗彦 兵庫県立大学大学院・情報科学研究科兼 社会情報科学部 教授
2	9/9 火	道具としてのAIとの付き合い方 大島 裕明 同 大学大学院・情報科学研究科兼 社会情報科学部 准教授
3	9/16 火	人の動きや行動を分析する機械学習技術 川嶋 宏彰 同 大学大学院・情報科学研究科兼 社会情報科学部 教授
4	10/7 火	文章を扱うAI技術 湯本 高行 同 大学大学院・情報科学研究科兼 社会情報科学部 准教授
5	10/14 火	アルゴリズム理論とその応用 宮崎 修一 同 大学大学院・情報科学研究科兼 社会情報科学部 教授
6	10/21 火	情報社会を支えるアルゴリズム 玉置 卓 同 大学大学院・情報科学研究科兼 社会情報科学部 教授
7	10/28 火	問題解決のためのオペレーションズ・リサーチ 東川 雄哉 同 大学大学院・情報科学研究科兼 社会情報科学部 教授
8	11/4 火	最適化技術の応用と進展 藤江 哲也 同 同 大学・社会情報科学部長 大学大学院・情報科学研究科 教授

AI活用実習		「AI活用のための基礎技術とその応用を学ぶ」P5
1	11/6 木	生成AI活用プログラミング／Python入門
2	11/13 木	Python/Pandasによるデータ分析と Matplotlibによる可視化
3	11/20 木	Python/Scikit-Learnによる機械学習入門
4	11/27 木	Python/PyTorchによる深層学習入門と画像認識体験
5	12/4 木	Python/Transformersによる生成AI体験
		森本 雅和 兵庫県立大学大学院・工学研究科 准教授